

【学校教育目標】「夢中」と「笑顔」で 共生社会を生きるひと

〈研修主題〉

「夢中」になって取り組み、できた喜びに
「笑顔」輝く姿を目指して



キーワード1
思いを生かす
主体的な学び

キーワード2
つながり、ひろがる
連続的な学び



小学部

目的に向かって「もっとや
りたい」と自分から取り組
む姿を目指した授業づくり

<遊びの指導、
生活単元学習>

中学部

生徒の思考に沿い、単元
構想の展開を工夫した授
業づくり

<作業学習>

高学部

『思いを実現しようと自
分から取り組む姿』を目指
した授業づくり

<作業学習>

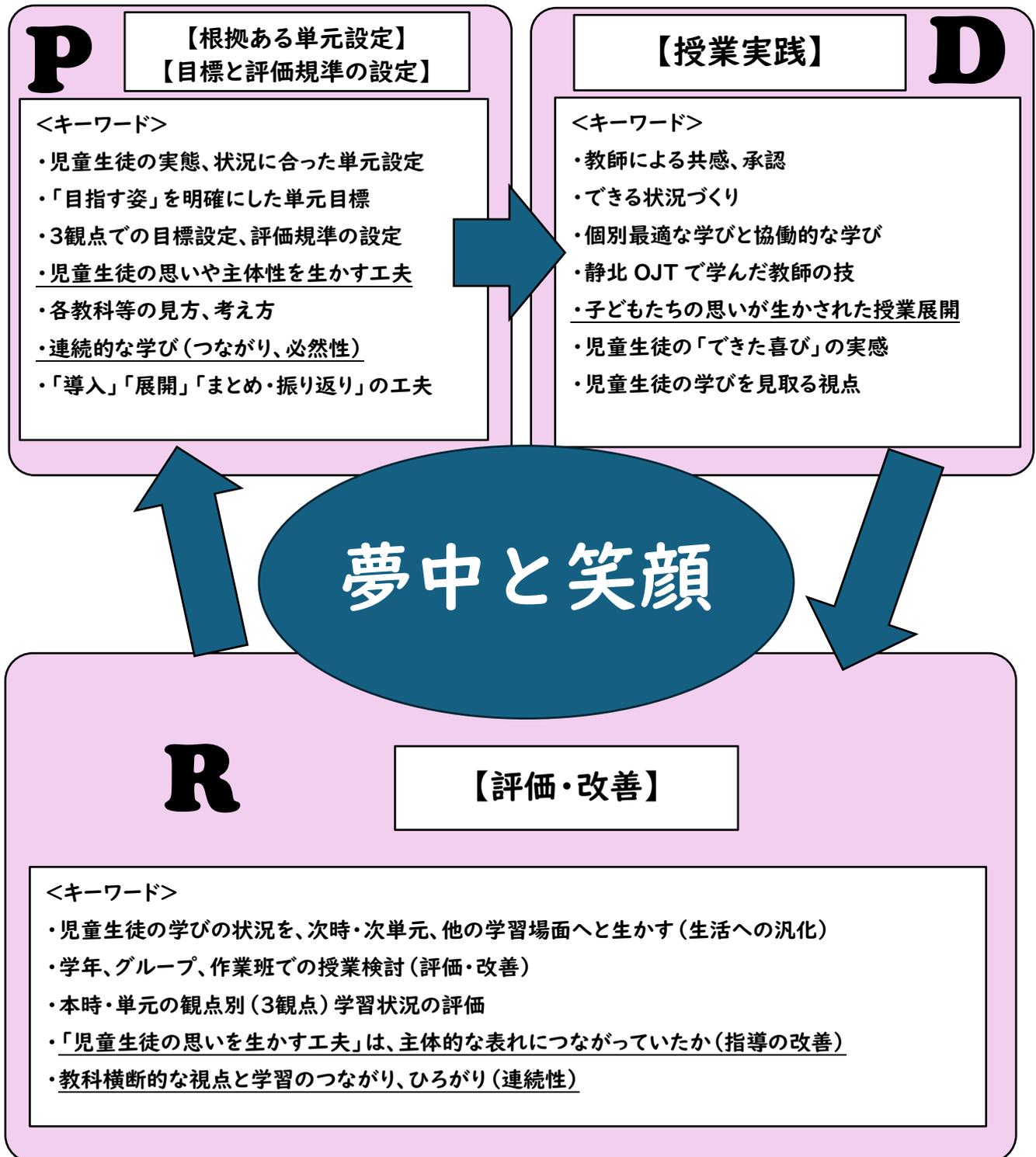
「夢中」と「笑顔」あふれる

静北版 OJT

- ・「教師の技」の伝え合いによる専門性の共有と蓄積
- ・「教え教えられること」による、教員一人一人の力量の向上

授業づくりの流れ PDR サイクル

<Prep=準備、計画 Do=実践 Review=振り返り、評価>



授業づくりの重点について

- ① 児童生徒の思いを生かし、②一人一人の学びがつながる、ひろがる授業づくり

<キーワード1 思いを生かす>

子供たちが授業を通して「こうしたい」「こうなりたい」といった、明確な目的や目標をもち、子供たちの思いを生かし、彼らが学習の主体となって輝く授業を目指す。各学部のテーマに沿って、児童生徒の思いを想定し、“思いを生かす”ための仕掛けや工夫について研修していく。



<キーワード2 つながる、ひろがる>

「つながる」…前後の単元をつなげて考えていくこと。「ひろがる」…他の授業や生活の様々な場面へのひろがりをもつことを想定していくこと。子供の学びが断続的にならず、連続的につながる、ひろがる授業の在り方を考えていく。

